

雇用確保と 新産業団地の課題は

津山自由民主倶楽部
吉田耕造



公共下水道など事業に必要なインフラは選定要素である。また、災害リスク、開発コストなど評価していくことも必要。

問 産業団地整備は、市と民間企業、県にも加わっていただき、役割分担の整備が必要では。

産業団地
問 津山産業・流通センター、久米産業団地は、ほぼ完売状況では。

答 大型区画が完売となり、1ha以上の用地対応が困難。早急に新たな産業用地の確保と誘致活動を推進したい。

問 整備の絶対条件は公の土地で、一級国道、インターチェンジに隣接、下水道・光回線の3点が挙げられるが。

答 造成環境、立地環境、



新産業団地整備の考えは？

補正予算

問 6次補正予算の塵芥処理費の内訳は。

答 住民向け啓発チラシの広報津山への折込み、ケーブルテレビを利用した啓発番組の制作と放送、スマートフォン用アプリ「ごみ分別アプリ」を新たに導入する。

農地

問 農地集積、ほ場構造改善へ向けた積極的な取組は。

答 構造改善事業等を検

ごみ減量に向けて

未来
高橋寿治



ごみの減量化にご協力を！

討している地区には、職員が出向いて説明、要望を聞いている。

教育

問 学力の新たな目標は。

答 偏差値（標準スコア）50を超えることを目指す。家庭学習を1日1時間以上行う割合を小学校70%以上、中学校75%以上とする。スマホ等の使用について時間・マナー等の家庭で決めたルールがある割合を小学校65%以上、中学校60%以上とする。

効率的・効果的で 持続可能な公共交通を！

ツヤマノチカラ
田口浩二



問 総床面積を減少させるという目標に加え維持管理費の減少も目標に追加した。さらに、新たな歳入を得る手法も取り入れ、未利用財産の利活用について検討を進めていく。

公共交通

問 デマンド交通について再度需要調査をし、バス利用が少ない時間帯にデマンド交通の実証実験をしようか。

答 再度、需要調査をした上で、デマンド型交通について様々な手法を研究していく。

公共施設

問 ファシリティマネジメントの取組状況と今後の展開はどう考えて



できる限り命を守り 繋いでいくために

ツヤマノチカラ
三浦ひらく



問 今までと同じアプローチでは改善が期待できない。岡山城や備中国分寺五重塔などと同様に、鶴山公園の備中櫓もライトアップしては。

答 津山城跡は津山のシンボルであり住民の誇り。歴史的・文化的価値を損なわないことなどを配慮しながら、石垣の一部を啓発事業に活用していくことは重要だと認識している。

児童虐待

問 本市の児童虐待の通告件数は。どう捉えているのか。

答 平成30年度212件、令和元年度278件、令和2年度251件。支援が長期間となっている困難ケースは増えている。関係機関と連携した支援を行うとともに様々な広報媒体の活用等により、一層の周知・啓発に努めていく。



観光面でもポジティブな効果が期待できる

【その他の質問項目】

◆自治体DXを進めていくために

◆子どもを尊重し、理不尽から守り、主体性を養っていくために

佐良山公民館 (令和4年度耐用年数到達)

未来
村上祐二



佐良山公民館の建て替えは？

環境問題
問 紙が貼り付けてあるプラスチック容器包装の分別は。

答 公民館整備方針に基づき、「後期実施計画」で計画的に事業推進を図っていくべきものと考ええる。

公民館

問 令和4年度から始まる第5次総合計画「後期実施計画」において、佐良山公民館建て替え事業の位置づけは。

答 公民館整備方針に基づき、「後期実施計画」で計画的に事業推進を図っていくべきものと考ええる。

問 令和4年度から始まる第5次総合計画「後期実施計画」において、佐良山公民館建て替え事業の位置づけは。

答 公民館整備方針に基づき、「後期実施計画」で計画的に事業推進を図っていくべきものと考ええる。

小中学校教育環境の 現状と課題

市民が第一
河村美典



問 安全整備はどの程度進んだのか。

答 平成30年から令和3年までの4年間で、小中学校から道路管理者、交通管理者等への要望は、384件435か所。そのうち、安全対策を必要とする箇所が約300か所あった。道路管理者による防護柵の設置・路面標示・路肩着色、交通管理者による横断歩道の補修及び新設等の完了件数は約150か所。

教育環境

問 小中学校将来構想検討委員会の目的は、小規模校統廃合、小中一貫校・義務教育学校移行の可能性の検討か。

答 様々な立場の方の意見をもとに、学校統合や小中一貫校等も含め、様々な体制整備の可能性について幅広く議論いただいている。

通学路

問 小中学校の通学路の



隅切りが施された市道（野介代地内）